

令和6年度 第1回 藤沢市立湘南台中学校 学校運営協議会会議録

日 時 2024年5月29日(水) 15:00から
場 所 湘南台中学校 第1会議室

○出席委員

川口 昇	地域協力者会議 会長
伊藤 雅浩	湘南台市民センター長
西川 典利	日本語支援団体 代表(地区生活環境協議会)
松原 保	湘南台中学校 校長
荒川 洋	湘南台中学校 教頭
森 満弘	湘南台中学校 総括教諭(2年学年主任)
古宮 由佳子	保護者 PTA 会長
片岡 あゆみ	保護者 PTA 副会長
加藤 なつみ	保護者 PTA 会計

出席委員：9名

欠席委員：2名 山田 大介 多摩大学 教授
岩崎 道子 湘南台高校 校長

その他出席者：3名

市丸 祐介	湘南台中学校 3年学年主任
三藤 秀久	湘南台中学校 1年学年主任
押野 大地	湘南台中学校 7組

傍聴人数：0名

次 第

1 開 会

2 新規委員委嘱状等の交付

3 自己紹介

4 議 題

(1) 学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)及び令和6年度湘南台中学校運営方針
について

【副会長】

- ・本校の学校運営協議会につきましては、令和5年度より立ち上がり今年度、2年目という形になる。
- ・学校経営方針見ていただき、湘南台中学校の学校経営の方向性についてご意見があればどんどん言っていただきたい。我々学校としては、真摯に受け止めながら学校運営に活かしていきたい。
- ・学校だけではなかなか解決が難しいような諸課題に対して、この協議会として、対策等具体的に教育委員会の方に意見を上げていくことができる組織になる。

- ・また、基本的には、本校に通う子供たちのことを考え、学校運営、学校経営がもっとこういう風にあった方がいいというご意見をいただくための会である。どうか忌憚のないご意見をお願いしたい。
- ・令和6年度の学校運営方針については別紙のとおりである。

(2) 湘南台中学校の概要について

【委員】

- ・学校の教育目標の説明。鍛練・感謝・意欲の教育目標で、生徒を育てている。
- ・学校教育目標から、育てたい生徒像につながり、各学年の目標につながっていく
- ・実は課題に、なかなかこの学校教育目標が子供たちに浸透してない部分があった。今年、正門入ったところに貼って、表示した。
- ・職員構成としては、今年度新たに10人弱が代わっている。
- ・クラス担任の先生方の経験年数を見ると、ほとんど1桁の先生たちがクラス担任をしている。先生方、本当に若くて非常にパワーがある。
- ・その反面、学校運営上、危機意識、危機管理が甘いことが課題になる。
- ・1981年開校で10周年、20周年、30周年、40周年が2021年だったが、コロナの関係で、その時の記念写真を撮っていないので今年、記念写真を業者に依頼している。
- ・湘中ルームも今年で4年目になる。昨年度もこのコミスクの中で話題になった。地域のボランティアさんが毎日午前1人、午後1人ずつサポートしており、充実している。
- ・学校外の居場所についても、少しずつ動き始めている。
- ・部活動は、入部率82パーセントで、非常に多くの子どもたちが関わっている。
- ・部活動の中で、ひととき人数が多い部活が演劇部になり、50名所属している。演劇部は、地域のいろんなイベントにも出演している。昨年度の終わりには、地域の保育園、幼稚園に呼び掛け、本校で演劇の発表会を行った。
- ・また、家庭部は、昨年度月1回「保育園小さなほし」に部員が行き、交流をしている。
- ・今年度から陸上部に、プレス工業が関わっている。地域貢献という形で、ボランティアでコーチが週1回、来ている。よくよくは、本校だけではなく、近隣の中学校の長距離走の子どもたちを集めて指導できるような発展が理想である。
- ・6月15日の体育祭で、今年度、湘南台音頭を行う。地域の老人会にお願いし、2年生、3年生が踊りを教わり、当日は地域を巻き込んで行う予定である。
- ・9月の文化祭では、市民センターにお願いし、体験型のブースを開いてもらう予定である。
- ・今年度は、3月22日に地域連携体験活動を昨年度に引き続き行う。昨年度よりも拡大し、今年度は土曜日に計画をしている。1、2年生プラス保護者も体験することになるかも知れない。
- ・地域には、サークルがたくさんあるので、その魅力をもっと知るきっかけになるとよい。よくよくはこれも文化部の地域部活動に繋がり、子どもたちが放課後、サークルに行くような形が理想である。

* 質疑・感想

【委員】

- ・プレス工業のような一流の選手やコーチが指導にくるということは、やっぱり子供にとってはノウハウを聞くだけでもありがたいことである。

【委員】

- ・サークル体験の話とか湘南台音頭の話がありましたけど、地域の方にとっても非常に励みになっている。
- ・中学校に行った話をしながら、何人も、元気をもらっている。
- ・サークル側も、アンケートをとって、非常に評判が良い。今度は参加したいというようなお話もたくさんきている。学校としては色々安全管理のところとか課題はあろうかと思うが、学校だけでなく、地域にとっても非常にプラスになることが多いので、是非しっかり連携を取りながらお願いしたい。

(3) 各学年について

【3年】

- ・先日、無事に修学旅行にいった。5月11日から13日ということで、土日を挟んで京都に行くということで、ちょっと混雑等心配したが、無事に行くことができた。ただ、費用面には課題がある。
- ・総合的な学習の時間では、これまで地域の方に色々サポートしていただき、1年生の時に地域調べ学習 2年生の時には地域の平和ということで、地域の防災、防犯活動や横浜の郊外学習。そして、今回は地域を広げ日本の平和や世界の平和で広島への修学旅行と続いている。学びを深め、文化祭では安心安全に繋がるような発表をさせていただきたい。
- ・修学旅行を通して築いた絆を、次の体育祭に活かし、このまま高校受験に向けて一致団結してやっていきたい。

【2年】

- ・本校の学校目標である人と関わり、コミュニケーションを取れる生徒を育てていきたい。
- ・1年生の時には色々、こちら側から正直教え込んでいく場面が多かったが、挑戦、自立という風なことを目標に今年度はやっていきたい。
- ・体験交流で、フランスから生徒がきたり、中国から転入生がきたり、今年はアメリカからきたりして、生徒が異文化に触れる機会が多くなってきている。
- ・総合的な学習の時間としては、社会福祉体験を考えている。
- ・地域の防犯、防災も行う。
- ・キャリア学習の一環で地域の幼稚園、小学校、それから保育園の方へと子供たちが出向いての交流を考えている。

【1年】

- ・1年生、ものすごくパワーがあって元気である。ともすると勝手な行動にこうしてしまう恐れもあるので、メリハリをつけた行動を取れる生徒になってほしい。
- ・先日、学年行事を行った。その学年行事も、我々大人が口を出さずに生徒に企画、それから当日の運営まで全部任せるところ、うまくいった部分と失敗した部分があった。
- ・その中でも学級委員は、ICTを使って生徒にアンケートを取り、課題を解決しようという意見を求めて、次に向かって進んでいる。そういう部分でも、かなりパワーのある生徒たちなので、うまく自主性を育てたい。
- ・総合的な学習の時間は、課題を自分たちで見つけ出し、その解決方法というものを探ってもらいたい。この湘南台を探求していくことで、町の良さや課題に気づき自分たちは何ができるか考えて行って欲しい。

【支援級】

- ・本校の特別支援学級は、1年生2人、2年生11人、3年生5名で合計18名ということで、今年度も藤沢市内の中学校の支援学級の中では、村岡中と並んで1番多い。
- ・2年生が11人と非常に多く、すごく賑やかで、その雰囲気ですぐからスタートしている。
- ・1年生が2人例年からするとちょっと少なめである。
- ・来週田植えに行き、10月に稲刈りをし、12月にもちつき大会を行う。様々な特学の行事も復活してきている。行事は生徒も楽しみにしている。

(4) 湘南台中学校運営協議会について昨年度の報告及び今年度の方向性

【副会長】

・不登校支援

(1) 教室に入れない生徒の居場所『湘中ルーム』での学習支援や見守りに対応する職員体制（職員、学習指導員、介助員、学生ボランティア）が不十分

⇒見守りボランティアとして、民生委員・青少年指導員およそ30名による支援体制（午前・午後各1名配置）を構築できた。

⇒見守りボランティアは、よりよい支援体制を模索しながら継続。見守りボランティア2名をR6より学習指導員として任命

(2) 湘中ルームに通うことも難しい生徒のひきこもり状態を解消する手立てとして学校外の居場所整備

⇒① 総合市民図書館でのボランティア（配架、選書、ポップづくり等）受け入れ R5は3年生1名、1年生1名が月1回のペースで参加。

⇒ 図書館担当者への負担を考慮しながら継続。現在3年生1名、2年生1名が参加。

⇒② 「地域のお手伝い」として、2年生1名が公民館事業のチラシを作成（在宅で作業）

⇒ 生徒の興味関心と受け入れ一覧を照らしながら、該当生徒に紹介・斡旋を継続。

⇒③ R6に新設される「地域の居場所」を該当生徒に紹介・斡旋。

・コロナ禍での活動制限による体験活動・地域活動等の不足、学びの機会創出

⇒① 2年生地域防災・防犯学習で自治連、北警察がゲストティチャーとして授業
市民センター、自治連、藤沢消防と連携して防災体験活動を開催

⇒ 地域防災・防犯学習は、内容を精査・発展させて継続。

⇒② 1年生地域連携体験活動で公民館サークル（13団体）がゲストティチャーとして授業

⇒ 地域連携体験活動は対象を1・2年生に広げ、休日1日開催・保護者参観可として実施

⇒③ 本校で請け負っている「体力づくり」にかかる研究の一環として、2年生による地区社協との合同イベントを実施

・開かれた学校の推進（学校の公開：学校に入ってもらう・学校が出て行く）

⇒① 体育祭・文化祭・授業参観・学校公開、駅地下アースクエアの活用

⇒② 地域行事への参加（部活動、ボランティア）

⇒③ 地区内保育園との連携（保育ボランティア、演劇公演招待）

⇒よりよい形を模索しながら継続

- ・部活動の地域移行に伴う受け皿となる実施主体（団体）の確保
⇒域内の少年団・高校と連携、足がかりとして上記2-②地域連携体験活動を実施
⇒国・県・市の動向に注視しながら、域内の団体との連携は継続。
- ・外国につながる生徒・保護者に対する日本語支援・学習支援
⇒有効な手立てについての検討を継続
⇒国際理解、多文化共生社会にかかる意識醸成に向けた学習機会の確保

湘南台地区学校応援団について

【委員】

- ・湘南台地区学校応援団とは、未来の子どもたちの成長を支えるために、地域住民、企業団体等が参加し子どもを支え、湘南台地区の地域学校協働活動を推進することを目的とした団体である。
- ・内容としては、湘中ルームの見守り、児童・生徒の校外での見守りや付き添い、子どもの居場所での見守りなどを行う。

(5) その他

5 その他

- ・今年度の会議日程（予定）確認
 - 第2回 7月10日（水） 15：00～（会場：湘南台中学校 第1会議室）
 - 第3回 11月11日（月） 15：00～（会場：湘南台中学校 第1会議室）
 - 第4回 2月26日（水） 15：00～（会場：湘南台中学校 第1会議室）

6 閉会